

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

City House 「匠の家」

グループの名称

名住協地域型ブランド住宅推進協議会

直近採択グループ番号

06-0364-0487

(グループ代表者)

代表者名

吉次 伸弘

代表者印

代表者所属先

名古屋市住宅建設協同組合

代表者所在地

愛知県名古屋市守山区天子田3丁目519?2

代表者電話番号

052-768-6105

(グループ事務局)

事務局事業者名

ランドマーク株式会社

事務局担当者名

堀 敏男

印

事務局郵便番号

461-0040

事務局所在地

愛知県名古屋市東区矢田1-9-29

事務局電話番号

052-725-3390

事務局FAX

052-725-3391

事務局担当者E-mail

web@aqua.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		9	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	9	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	前年度実績がある工務店には、長期優良住宅+ゼロエネルギー合わせて10棟以上確保し、これまで長期優良住宅への取組み実績がない、または少ない工務店に受注確保へ協会サポートし長期優良住宅2棟確保したい。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) City House 「匠の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県内全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 名古屋地域型ブランド住宅推進協議会	(結成年) 2011 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0364-0487	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	1.地震に安心な建物。 2.省エネ化による世帯当たりエネルギー消費量低減建物。 3.全ての物件にて1次消費エネルギー計算を実施。ゼロエネルギー消費削減量計算実施。 4.CASBEEあたり[戸建]の周辺環境に配慮した設計指針。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	東海地域は、建築地域特性が多様で、デザイナースタイル・ユーロピアンスタイル・和スタイルと周辺環境に合った建築デザインが好まれ、一例として居室内天井を化粧木梁や木板材表し・壁を真壁として柱を見せる様式も好まれます。その各地域特性に合った様式をそれぞれ提案できる設計・企画・提案力に上記①の1.2.3設計施工技術を総合提案する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	周辺環境に合ったファサードデザイン提案ルールによる新築。外観ファサードデザイン10タイプよりセレクトでき、地域周辺環境に合った建物デザインが早期選択できる。デザイナースタイル3タイプ・ユーロピアンスタイル3タイプ・和スタイル3タイプ+フリースタイルを設定し都市周辺では3階建も用意	◎
④①～③の背景	東海地域は、多雪地帯の飛騨地方、奥美濃地区、季節風の影響を受ける濃尾平野部、比較的温暖な中部地区までと特徴ある地域で、家並みは歴史・文化を生かした周辺環境に合った住まいづくりや、都市化された地域では街並み景観への配慮がより必要な地域と、各々の地域に根差した住まいづくりが必要です。更に、大規模地震(南海トラフ地震予測では震度6強から7)の発生率は非常に高い地域で、かつ省エネ化による世帯当たりエネルギー消費量の低減が急務です。この地域特性の対応を重視した性能を有する建物とする必要があります。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○許容応力度計算による地震に対する安全性の確保 耐震等級3(倒壊・破損)標準化。 ○引渡し後60年後までの維持管理計画の策定・組合による点検の実施。 ○地盤調査実施による地盤保証・瑕疵保証の義務化及び完成保証の標準化。 ○建物と設備にて消費エネルギーネット・ゼロ住宅を見据えた住まい設計の推進(全棟ゼロエネ計算実施)。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○技術委員会による、標準仕様書・標準設計図書の更新・改訂作成。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○共有化されたディテールによる設計施工・共通部材の設定更新・改訂作成。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○技術委員会による、標準仕様書の更新・改訂作成。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○構成員年間建物受注予定棟数(一般建物・リフォーム建物・地域ブランド化住宅)を年間受注計画として使用材料・設備仕様等コスト調査及び、共通部材の設定によるコストダウンを図る。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○建材・設備メーカー・流通グループと連携し、使用各部材の品質・性能・価格を消費者向けに魅力ある担保を明確化を図る。○26年度年間受注計画に基づき、使用材料・設備仕様等コスト調査及び、共通部材の設定によるコストダウン	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○技術委員会による、性能・技術向上、コストに係る調査研究(受注計画による共同購入)・標準設計図書・標準単価表等の作成。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○短期受注計画及び、建材・設備メーカー・流通グループと連携し新商品・既存商品・使用材料・設備仕様別の最新情報収集及び技術委員会との情報共有によるコストダ	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○技術委員会による、施工技術向上・施工の信頼性向上に、標準施工マニュアルの作成。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○技術委員会による、施工技術向上・施工の信頼性向上に、グループ独自の各工程別施工チェックリストによる現場監理。工程・基礎・構造組立・断熱材施工・造作完了時・竣工時	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○消費者へ早期見積書を提出できるグループ標準顧客見積システムによる見積書の提出。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○地域型住宅工法や材料選択の検証を随時行いグループで定めた、設計マニュアル・標準性能指針を順守し、第三者機関による検査を受け各証明書を添付し、インターネットによる標準化された設計ルールや技術などを公開し県民にPRする。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○グループとして週休2日制の推進・啓蒙を図る。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施工技術・技能・経験に基づく職制・賃金処遇向上を図り、中期・長期の人材育成。確保を推進。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○全職員の社会保険加入及び職方の社会保険加入確認実施。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○技術委員会による、安全講習会開催・現場足場検査等の実施。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○建物の構造組立時・完成時に消費者への地域型住宅周知普及及びグループの信頼性向上を目的とした、一定期間一般公開を実施。 ○地域型住宅の性能の担保と効率的な設計・施工の実施-取組・課題とその対策 グループ独自の「標準設計・施工指針」に準じた設計・施工の記録の義務化を図り、住宅の全てを構造の安定3等級を標準化し、関わる全構成員が、設計・施工に対して性能の担保や効率的な施工を行う意味と必要性を、理解し消費者に自信を持って提案する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) City House 「匠の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県内全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 名住協地域型ブランド住宅推進協議会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0364-0487	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】				◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 住宅履歴情報は、消費者・施工工務店・設計者・協議会事務局と住宅履歴情報専用Webサイトにて情報が共有化。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 名古屋市住宅建設協同組合による独自運営Webサイトの活用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 住宅履歴情報専用Webサイトにて情報案内及び閲覧確認。	◎
	② メンテナンス基準の	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 10年目までは施工工務店が点検。引渡し後60年後までの維持管理計画書の策定し、10年目以降は協議会会員による点検実施。*定期点検 6ヶ月目・1年目・2年目・3年目・5年目・10年目・20年目・30年目・40年目・50年目・60年目	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 引渡し後60年後までの維持管理計画書に基づき点検後実施。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 定期点検 6ヶ月目・1年目・2年目・3年目・5年目・10年目までは、瑕疵保険機関への報告とし10年目以降は維持管理委員会による点検実施し住宅履歴情報専用Webサイトにて情報共有化。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 維持管理委員会にて、住まいの管理勉強会の定期開催を検討実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 維持管理委員会と総務委員会にて、消費者向け住まいの管理・DIY相談会の定期開催を検討実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 維持管理委員会と総務委員会にて、消費者向け住まいの管理・相談会の定期開催を検討実施する。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 協議会設立時より維持管理委員会が設置され住宅履歴情報の共通管理診断・点検方法の共通化維持管理計画書に基づくメンテナンス・リフォームを実施。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	内容: 各工務店別に瑕疵担保保険に加入しているが、消費者がより安心・納得ができる魅力あるグループ独自の瑕疵担保ルールの整備を維持管理委員会と総務委員会にて、検討・協議する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 協議会主体事業者、名古屋市住宅建設協同組合による工事完成保証システムにて全物件倒産廃業時のバックアップを図る。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 維持管理委員会にて、住まいの瑕疵メンテナンス勉強会の定期開催を検討実施する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○インターネット内容を、より消費者が安心・納得できるように、着工物件の施工近況情報や現場見学会情報を公開する。 ○地域におけるグループの認知度のさらなる向上を目指す。取組・課題とその対策。全ての業種の構成員の代表からなる広報委員会にてグループとしての広報活動の企画立案を行い、地域の消費者と住宅産業の双方に対し広報活動を行う事で地域での認知度の更なる向上を目指す。			○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】				◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: a. 許容応力度計算による地震に対する安全性の確保耐震等級3(倒壊・破損)標準化)の取得において、未申請構成員が含まれて、その対応として、設計グループによるサポートや、設計・施工・仕様・積算に関する講習会を実施。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 標準設計図書による長期優良住宅申請標準化。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 補助金交付申請時、事務局にて標準設計図書による長期優良住宅認定通知書交付がされているかチェック。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 消費者への地域型住宅(性能及び品質等)の認知度及び周知がまだ少ないが、HP効果として消費者より問い合わせが多くなった。中期的取組として、消費者へのマーケティング活動の強化として、グループ専用住まいのパンフレット・設備パンフレットを製作し、専用webサイトより魅力化を図り、更に、グループ構成員の新規加入を働きかけをおこなうことで、シティハウス「匠の家」の市場認知度の向上及び(長期優良住宅)の契約棟数UPを目的とする。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 各業種別に業種リーダーを設け、技術力(設計・施工)向上のため中・長期的な問題点を検討・協議し、本事業推進に活かす。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 各業種別に業種リーダーを設け、短期・中期的な需給拡大手法・問題点を検討・協議し、本事業推進に活かす。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 3		○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 12 今年度の参加目標人数 10		○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: 省エネ技術講習会日時が公開されたい、未習事業者へ講習会案内実施。講習会案内の配布。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○建物と設備にて消費エネルギーネット・ゼロ住宅を見据えた住まい設計の推進。全ての物件にて1次消費エネルギー計算を実施。ゼロエネルギー消費削減量計算書を添付し、事務局にて確認○技術委員会による制振金物導入に必要な・設計・施工等の検討。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある	内容: ○制振金物導入・設計・施工及び実証実験の実施。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○許容応力度計算による地震に対する安全性の確保耐震等級3(倒壊・破損)標準化。長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査適合書を添付し、事務局にて確認。 ○省エネルギー性能の優れた住宅・建築物供給-全ての物件にて1次消費エネルギー計算を実施。ゼロエネルギー消費削減量計算書を添付し、事務局にて確認。			◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) City House 「匠の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県内全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 名住協地域型ブランド住宅推進協議会	(結成年) 2011年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0364-0487	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】

			◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール (必須)	愛知県産材認証機構認証制度・岐阜証明材推進制度・「三重の木」認証制度の桧・杉・松を使用する。非住宅の場合、合法木材(国内・国外)使用を承認する。住宅木材部材の木拾い表・愛知県・岐阜県・三重県産材認定材証明書・合法木材(国内・国外)証明書の提出。主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半(50%以上)にグループ指定地域材を使用し、柱は10.5cm角以上の材を使用。主要構造柱材以外の補足材等にも一部地域材を活用し戸あたり5㎡以上(主要構造材含む)を使用する。	◎												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明															
b	①-1 地域材在庫把握の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録グループ事業者より月末時最新在庫情報を収集し、情報共有を図る。	◎												
	①-2 地域材価格の共有の仕組み	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 登録グループ事業者より月末時最新価格情報を収集し、情報共有を図る。	◎												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 30年度具グループ新築予定が約35棟 35×8㎡(戸平均)=280㎡	○												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 瓦仕様はすべて三州瓦とする。	◎												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 常滑焼・瀬戸(瀬戸物・篠焼き等)・美濃焼等による洗面器の活用。	○												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: CASBEEあいち[戸建]の周辺環境に配慮した設計指針を活用しグループ独自の設計チェックリストを設け、周辺環境に配慮した設計を実施し、住まいの方の啓蒙を図る。	○												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: CASBEEあいち[戸建]の周辺環境に配慮した設計指針を活用しグループ独自の設計チェックリストを設け、 ○近隣住宅・街区との調和 ○まちなみ・地域景観への積極的な配慮(景観に配慮したファサードデザイン)等を明確化し、積極的に周辺環境に配慮した設計指針を推進する。	○												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○まちなみ・地域景観への積極的な配慮(景観に配慮したファサードデザイン)に和の住まいを標準化。	◎												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○都市型環境へも対応すべく地域材を利用した地域型住宅木造3階建てを、より施工・供給推進を図る。○地域の住宅産業との取組みの強化と、地場の住宅資材のさらなる活用-取組課題とその対策 現在、グループの共通ルールにおいて県産材の活用を義務付け、地域において瓦仕様の場合、生産される三州瓦の活用を標準しているが、今後この地場の住宅資材の更なる活用を目指し、グループ内での活用の定着と地域の住宅産業との取組みの関係性の強化を図る。		○												

カ. その他

【平成30年度対応方針】

		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	全ての建物を許容応力度計算による地震に対する安全性の確保 耐震等級3(倒壊・破損)標準化され構造計画・構造計算等の東日本地域採択グループと情報共有化・情報交換により相互向上を目指す。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	全ての建物を許容応力度計算による地震に対する安全性の確保 耐震等級3(倒壊・破損)標準化され構造計画・構造計算等の熊本地域採択グループと情報共有化・情報交換により相互向上を目指す。	○

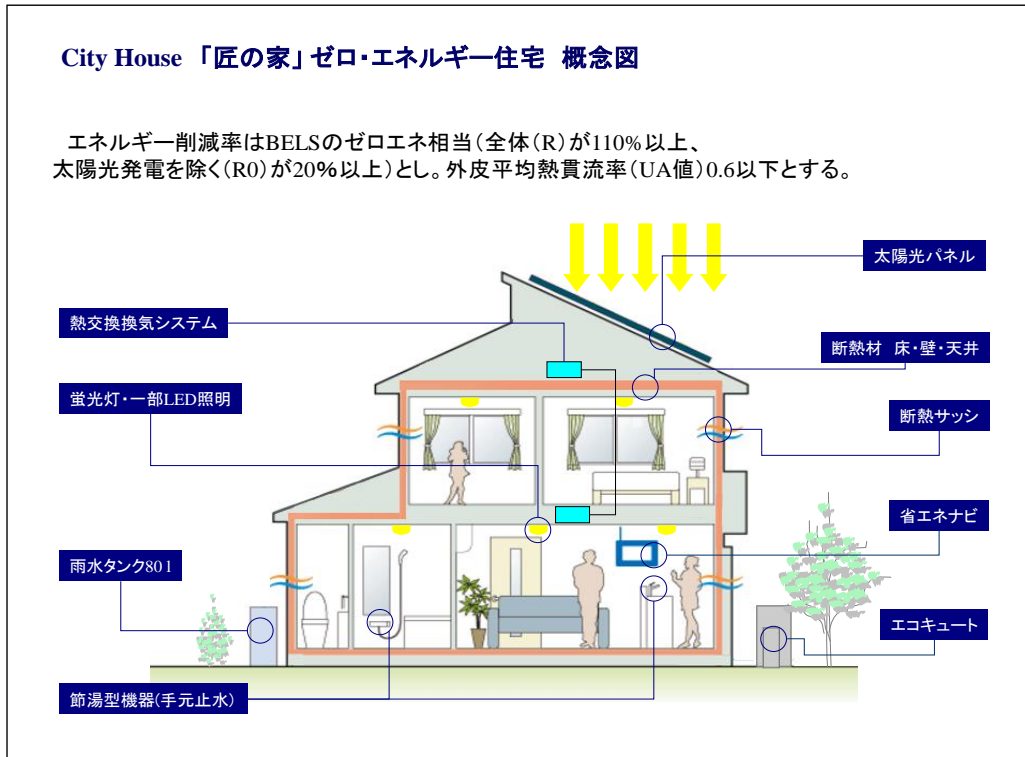
※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) City House 「匠の家」	(地域型住宅供給対象地域) 愛知県、岐阜県、三重県内全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 名住協地域型ブランド住宅推進協議会	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0364-0487	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

■ゼロ・エネルギー住宅(6地域)建築を対象とし、)エネルギー削減率はBELSのゼロエネ相当(全体(R)が110%以上、太陽光発電を除く(R0)が20%以上)とし。外皮平均熱貫流率(UA値)0.6以下とする。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。